

名東児童館での児童向け認知症啓発事業（開催結果）

日 時：令和4年5月16日（月）16時00分～16時45分

内 容：名東児童館を利用している小学校1～3年生の児童ら25名が参加。小学校低学年児童向けに愛知淑徳大学の学生によって作成された紙芝居「もしも桃太郎のおじいさんが認知症になったら」を始め、認知症関連クイズ、認知症予防のための体操、認知症の方への対応に関する動画DVDの視聴など、認知症に関するいろいろなことについて、楽しみながら知ってもらいました。

<アンケートの結果>

1 講座の内容について

①よく分かった（17名） ②すこし分かった（5名） ③むずかしかった（3名）

2 質問「きょうからなにができるかな？」への回答（一部）

『やさしくこえをかける。』

『あいさつをする。』

『はなしをきく。』

『元気にさせて、えがおにする。』

『おばあちゃんの手伝いをする。』

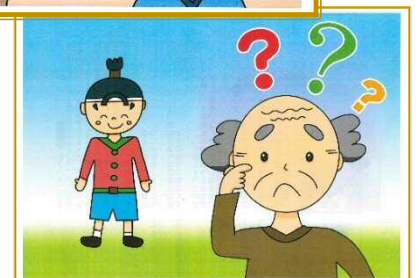
『わからないことはおしえる。』

『にんちしょうの人がいたらたすけてあげて、元気にせいかつができるようにする。』 等

<当日の様子>



手を挙げてクイズに答える児童たち



紙芝居の一部

